

令和7年度 学校評価（自己評価）結果

評価（十分満たしている：3、概ね満たしている：2、改善が必要である：1）

1 教育理念・目標

	評価項目	評価結果
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2.8
2	・学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	2.5
3	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	2.8
課題等	・教育理念・目標は、学生便覧、ホームページ、パンフレット、募集要項に明文化して周知を図った。 ・教育課程編成委員会や実習巡回等を通じて、業界のニーズの収集に努めた。 ・学校評価アンケートを保護者等に依頼し、ニーズに沿った教育を行うよう、努力した。	
改善策	・教職員の人事評価は軌道に乗ってきており、その作業を通して、全教職員が本校の教育理念・目的・育成人物像への意識をもちやすくなっている。今後、教職員から理念等を、学生や保護者により正確に伝えることが期待できるので、ガイダンス等での周知に努める。 ・理念や目標等は、校務システムやwebなどを通して、発信性を高めたい。	

2 学校運営

	評価項目	評価結果
1	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.0
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.0
3	・人事・給与に関する規定等は整備されているか	2.7
4	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.0
5	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.3
課題等	・学校運営組織（校務分掌）を作成し、教職員それぞれの職務分掌を文書化した。 ・SNS（X, インスタグラム、ライン）の充実を図り、リアルタイムでの教育活動周知に努めた。 ・校務システムの導入1年目であり、現場と業者の連絡を密にして、システムの完成に努めた。 ・校務における情報システム化は導入初期段階であり、運用の定着や機能改善など、継続的なシステムの整備が必要である。 ・校務に関するデータ管理や情報共有の方法について、整理・統一が必要である。 ・理事会の決定事項は、校長から職員会議で全教職員に報告し、運営方針を共有している。	
改善策	・職員会議等を通じて、学校運営等の情報共有を図る。 ・校務システムにより、運営方針に基づく事業計画策定等の効率化を図っている。システムの整備に時間を要しており、早急に完成を目指したい。 ・業者との連携を図りながら校務システムの機能改善を進める。 ・校内フォルダやデータ管理方法を整理し、業務効率化を進める。 ・ホームページ、SNSの一層の充実を図る。	

3 教育活動

	評 価 項 目	評価結果
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2.9
2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.7
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.8
4	・関係施設等と連携による実践的な職業教育（実習等）が行われているか	2.8
5	・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.0
6	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2.7
7	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.6
8	・関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.6
9	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.5
課題等	・教育目的および育成人材像に基づきアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明示し、パンフレット、募集要項、ホームページで周知を図った。 ・学生による授業評価と、教員間の公開授業を行い、授業の質保証に努めた。 ・両科とも、実践現場の方をゲストティーチャーとして招き、より実践的な授業に努めた。 ・保育科は、系列の認定こども園専修大学北上幼稚園と連携を強化し、1年次のプレ実習を実施した。 ・校務システムによる成績評価等の効率化・正確化を図った。	
改善策	・校務システムによる成績評価等は一定の成果をあげているので、引き続き運用に努める。 ・校務システムによる学生・教職員への連絡はまだ周知が十分でなく、使用の日常化に努める。 ・両科とも、実践現場との連携をいっそう強化する。	

4 学修成果

	評 価 項 目	評価結果
1	・就職率の向上が図られているか	3.0
2	・資格取得率の向上が図られているか	2.9
3	・退学率の低減が図られているか	2.9
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.7
課題等	・スクールカウンセラーによる定期の学生相談に加え、状況に応じてスクールカウンセラーと連絡をとるなどして、退学率の低減を図った。 ・就職指導を個別にきめ細かく行うほか、進路先との連絡も密にし、効率的な進路指導に努めている。 ・卒業生の動向について、卒業生の就業先訪問で把握し、各科の教員間で情報を共有している。	
改善策	・スクールカウンセラーとの柔軟な連携をいっそう図る。 ・就職関係情報の校務システムへの移行を進める。 ・卒業生の動向について、卒業生就業先訪問で把握するよう努める。	

5 学生支援

	評 価 項 目	評価結果
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.0
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	2.9
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.7
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.7
5	・保護者と適切に連携しているか	2.7
6	・卒業生への支援体制はあるか	2.5
7	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.7
課題等	・後援会総会と研修会を開催し、保護者と適切に連携した。 ・成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、面談を行った。 ・昨年度に引き続き、校内で同窓会総会を開催し、卒業生の動向を把握するよう努めた。 ・毎年、同窓会報を作成し、学校情報を卒業生に伝えている。 ・スクールカウンセラー、学校医と連携し、学生支援に努めた。	
改善策	・学生のニーズが多様化していることから、これらに対応するための外部専門家との連携、教職員研修の充実を図る必要がある。 ・同窓会総会を校内で行うことで、より同窓生が参加しやすい形で継続する。	

6 教育環境

	評 価 項 目	評価結果
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.3
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.5
3	・防災に対する体制は整備されているか	2.3
課題等	・グラウンド整備がほぼ完了し、サッカー同好会の結成等、学生活動の活性化につながっている。 ・体育館（旧第二体育館）の授業での活用を進めている。 ・2号館1階にコモンテラスを設け、学生の休憩スペースの確保に努めた。 ・旅行経費の高騰等に対応して、海外研修の計画を検討した。 ・施設設備の一部に老朽化が見られる。 ・防災のために、総合訓練（消火・通報・避難）の実施を予定している。	
改善策	・施設設備の計画的な更新・整備を進める。 ・防災訓練や安全対策（不審者対応・熊対策等）を強化する。 ・引き続き、教室環境の整備等を進める。 ・学生ホール、コモンルーム、コモンテラスの運用。 ・海外研修の計画の検討を通し、実施を目指す。	

7 学生の受け入れ募集

	評 価 項 目	評価結果
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	2.8
2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2.7
3	・学納金は妥当なものとなっているか	2.8
課題等	・進学ガイダンスへの参加回数を増やし、学生募集に努めている。 ・ホームページや SNS を活発に活用し、生徒や保護者にわかりやすく、見やすい（スマートフォン対応）学校情報を提供している。 ・web 出願を本格的に運用開始した。 ・入試情報や入学前情報等を校務システムで管理するようにした。 ・毎月 1 回、学生募集強化委員会を開催し、募集活動を強化している。 ・職業安定所を訪問するなど連携を深め、社会人学生の募集に努めている。	
改善策	・進学ガイダンスでの内容の充実や、教員間の共通理解を図り、高校生のニーズに即した質の高い、学生募集を展開する。 ・引き続き、進学ガイダンスや高校訪問を行う。 ・web 出願や入試情報等の校務システム管理の成果と課題を確認し、改善を図る。	

8 財務

	評 価 項 目	評価結果
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2.5
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.5
3	・財務情報公開の体制整備はできているか	2.5
課題等	・校務システムの導入に基づき、文書、会議資料等のペーパーレス化を進めている。	
改善策	・法人本部で適正に管理・実行している。 ・財務状況はホームページで公表している。 ・校務システムの活用によって、予算の縮減や校務の効率化を図る。	

9 法令等の遵守

	評 価 項 目	評価結果
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.9
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.5
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.7
4	・自己評価結果を公開しているか	3.0
課題等	・法令、専修学校設置基準を遵守し、適正に学校運営した。	
改善策	・学校評価は、自己評価と学校関係者評価の結果をもとに、自己評価委員会で話し合った後、職員会議に諮り、外部委員から客観的に検証する過程で実施することを継続する。 ・校務システムにおける情報管理については、業者と連携し、医療機関に準じたセキュリティ水準を参考にしながら、個人情報の保護や情報管理の安全性の確保に努めている。	

10 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	評価結果
1	・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.7
2	・学生のボランティア活動を奨励しているか	3.0
3	・公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）を積極的に実施しているか	3.0
課題等	・高校生対象に出前講座と、認知症サポーター養成講座を行った。 ・放課後等デイサービスのレクリエーション会場として、本校の教室を貸し出すとともに、学生との交流の機会とした。 ・NPO 法人と連携し、近隣の公民館で介護予防教室を開催した。 ・学生によるボランティア参加数が増加した。 ・学生部がボランティア受付窓口となり、学生へボランティア情報を周知し、活動を奨励している。 ・高等学校に対して公開講座案内のチラシを配布し、積極的に公開講座を実施している。 ・北上市生涯学習まちづくり出前講座に2講座（保育、介護）メニュー登録し、地域住民に対して公開講座の周知を図っている。	
改善策	・引き続き、ボランティア機会の拡充を図る。 ・公開講座等の積極的な展開に努める。	

11 国際交流

	評 価 項 目	評価結果
1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を行っているか	2.8
2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	2.7
3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2.5
課題等	・多様な国・地域からの留学生受入れに対応できる体制整備が必要である。 ・北上市国際交流協会と連携し、留学生が国際交流イベントに出展ブースを設け地域交流を行った。 ・留学生を対象とした学校見学会、会場型ガイダンスを実施し、戦略的に募集活動を実施している。 ・地域住民や、高校生と交流できる行事を企画し、国際交流に取り組むよう努めている。 ・留学生の文化的背景等を考慮して、学習環境の整備に努めた。	
改善策	・日本語学校を中心に、留学生募集活動を引き続き強化する。 ・留学生の学習支援・生活支援体制の充実を図る。 ・海外からの入学者の増加に対応した支援体制の構築に努める。	